

75歳以上 医療「負担」8割

石川県民生活医療機関連
合会は6日、石川県庁で
記者会見し、75歳以上の
医療費窓口負担を割り増
加のアンケート調査結果
と手遅れ死亡事例を発表
し、最も医療を必要とする
人の受療権が侵害され
ている実態を報告しまし
た。

アンケートは昨年11月

～今年1月末、加盟する
診療所の患者などに実施
し、221人から回答が
ありました。昨年10月か
ら2割になった114人
に負担感を聞くと、「ど
ても重い」29人、「重い」
58人、「普通」24人など8

割弱が重いと回答。約4
割が生活費を切り詰めて
受診していると答えま
した。

石川民医連の藤牧圭介
事務局次長は「物価高騰
で生活が苦しい世帯が増え
ているなか、経済的事
由で受診を控え、手遅れ
になる危険性が高まって
いる」と指摘。医療費2
割化の中止と資格証明書
の発行中止、高すぎる国
保料の引き下げが必要だ
と求めました。

城北病院の川合優相談
る」と語りました。

2倍化中止と国保料下げ必要

には既に手遅れで19日後
に亡くなつた事例を紹
介。同病院の柳沢深志副
院長は「お金を理由に病
院にかかりないようなこ
とは絶対に無くしてほし
い」と話しました。

大野健次院長は、障害
のある家族を抱え、年金
収入のみの75歳の患者が
後期高齢者となり、窓口
負担が2割となって落胆
していることを紹介。
「決して裕福と言えない
世帯が2割になつてい
る」と語りました。